

Topics

1. 福島県における災害アーカイブズの構築
2. 過去のアーカイブズ資料の活用事例
3. 資料の管理と保全
4. モザイクモデルとその活用



A) 使い捨て防塵マスクと線量計（個人装備）
線量計の単位は $\mu\text{S}/\text{h}$



A) 汚染傷病者搬送用シート



B) 原子力テープ



C) 津波の痕跡が残る戸板



B) 線量計（空間線量や収集物を測定）
線量計の単位はcpm



D) 個人線量計（単位：mSv/h）

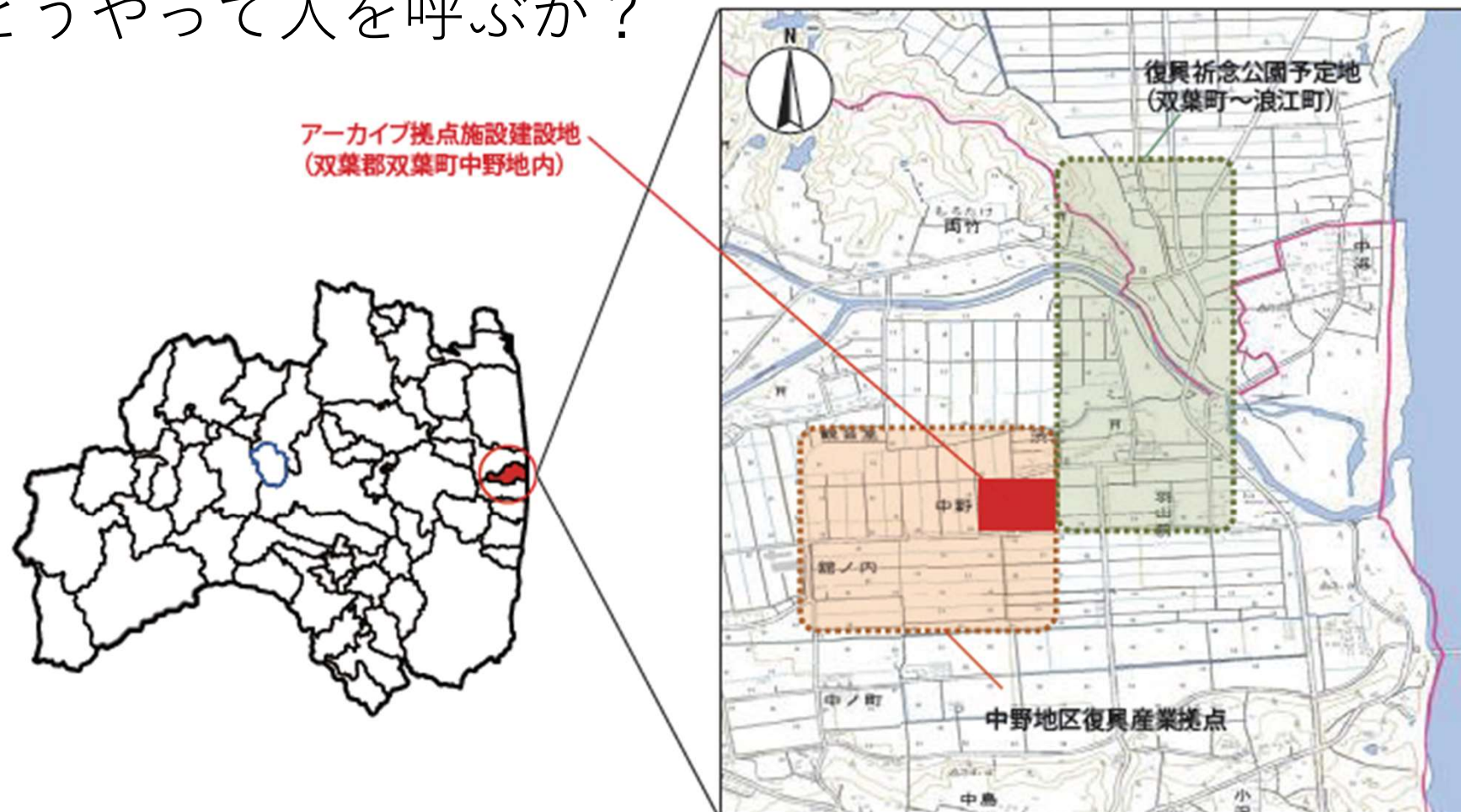


E) 津波で潰れた消防車

1. 福島県における災害アーカイブズの構築

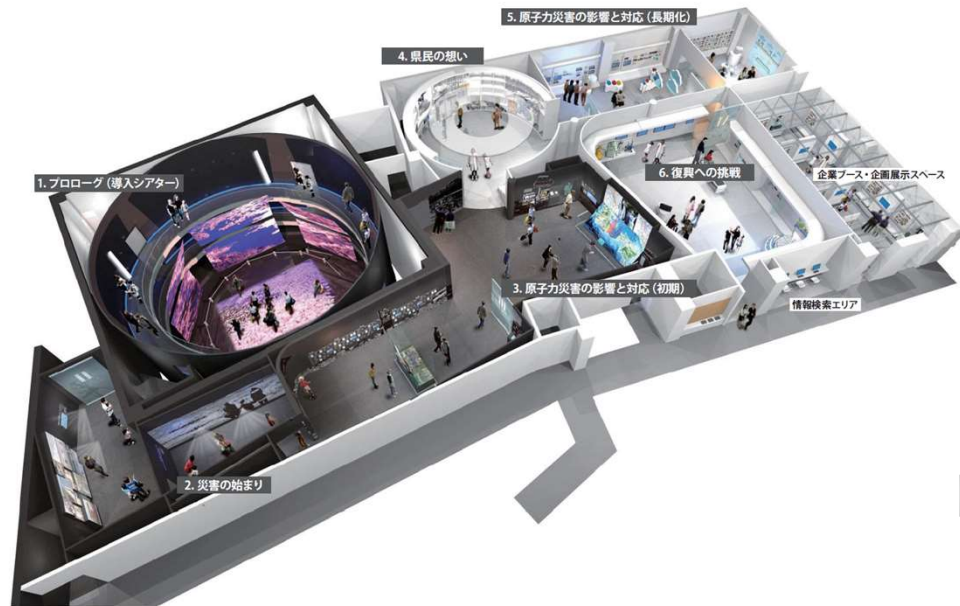
■案内図

どうやって人を呼ぶか？



東日本大震災・原子力災害伝承館

■展示室全体イメージ

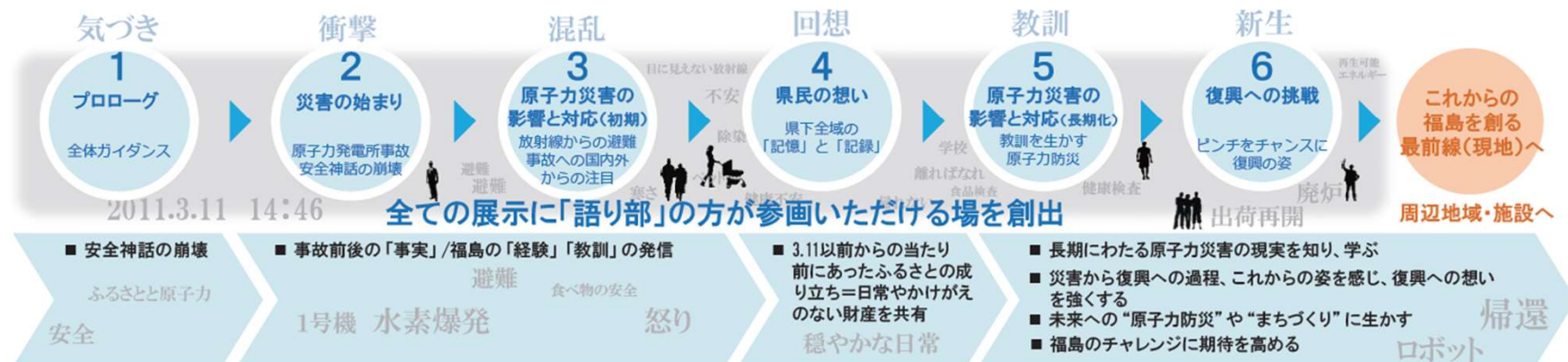


現在進行中の中で...

- ・ 資料収集
- ・ 展示
- ・ 調査

固定した“常設展示”は現実的ではない。

■展示ストーリー



収集資料が持つ価値その1

博物館資料

研究する価値

展示する価値

災害アーカイブズ

展示する価値

将来研究する価値

市場価値

展示するもの、収蔵するものの
価値はある程度固まっている。

展示価値・将来研究する価値（収集
価値）に揺らぎがある。



従来の博物館学ではおさまりが悪い

収集資料が持つ価値その2

- ・ 災害の事実を記録し伝承することに適している
- ・ 災害時に過去の経験が活かされたか検証できる
- ・ 災害経験から経験知を抽出できる
- ・ 国際発信に適している—世界的に見て価値のある被災経験
- ・ 被災地域の記憶を保全できる



長期・広域に被災した原子力災害被災地で特に求められる資料価値

資料収集ガイドラインにみる資料の分類と例（一次資料）

資料分類	資料の例
モノ	・ 2時46分で止まった時計 ・ 震災後閉校となった学校の様子が分かるもの ・ 新エネルギーの広告塔、看板 ・ 津波の影響を受けた道路標識、看板、線路 ・ 帰還困難区域等を表す看板 ・ 避難所で使われた炊き出し用の大鍋 ・ 応援メッセージ、励ましの千羽鶴 ・ 仮設住宅の様子が分かるもの（看板や表示）等
紙	・ 被災者の日記、手記 ・ 子どもの体験作文、手紙 ・ 避難所の記録、日誌、ビラ、メモ、表示 ・ 救援物資に関する資料、配布表 ・ 自治会の日誌、報告書 ・ 仮設住宅に関する書類 ・ 市町村が配付した広報誌、ビラ、チラシ 等
写真 ※デジタルデータを含む	・ 震災の様子を表した写真、倒壊した建物、町並み等の写真 ・ 避難の様子が分かる写真、救援活動の記録写真 ・ 避難所の生活の様子を表す写真 ・ 仮設住宅での生活の様子が分かる写真 ・ ボランティア活動の記録写真、イベントの記録写真 等
映像・音声 ※デジタルデータを含む	・ 被災者が撮影した震災の映像 ・ 仮設住宅やボランティア活動の記録映像 ・ 復旧、復興の様子を撮影した映像 ・ 風評被害払拭のためのイベントの様子を撮影した映像 等

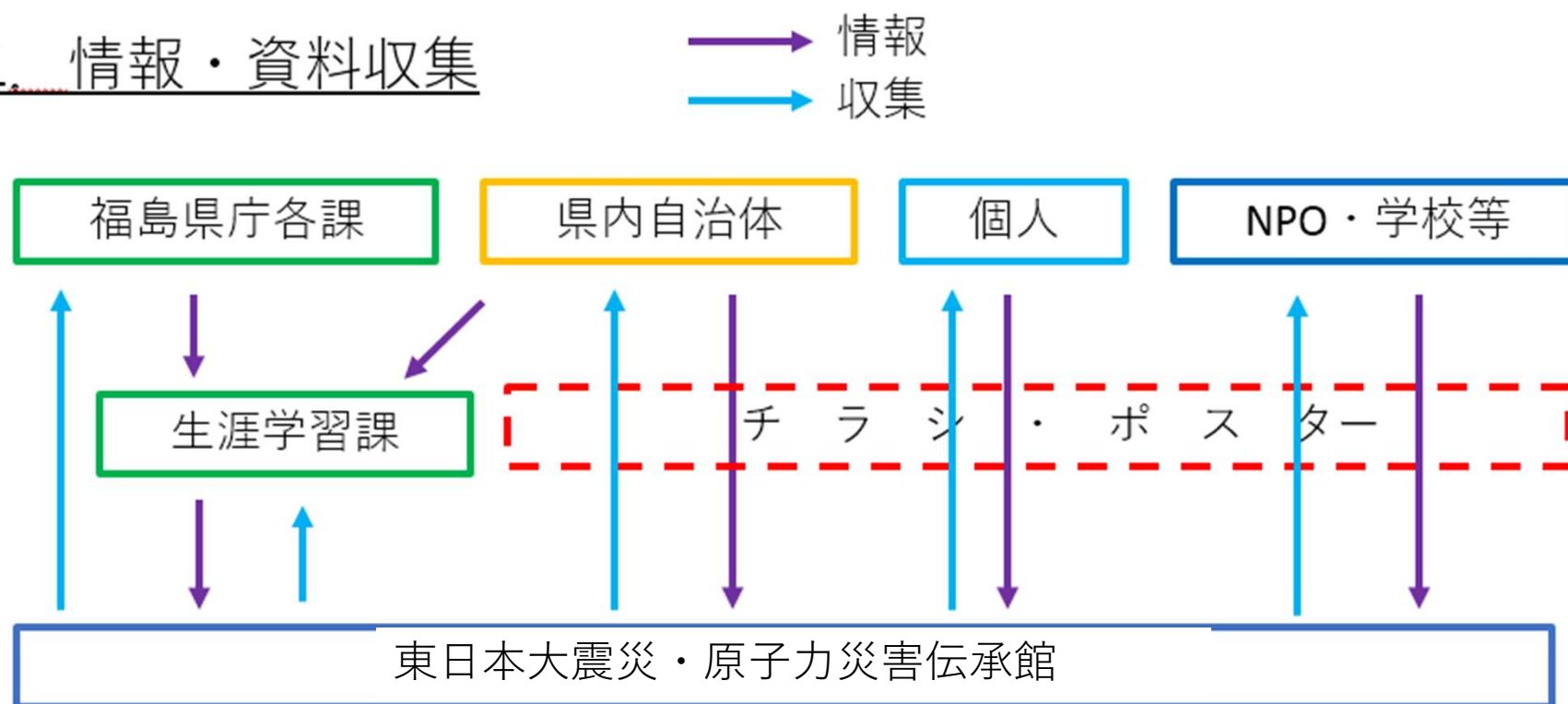
資料収集ガイドラインにみる資料の分類と例（二次資料）

（イ） 二次資料 東日本大震災及び原子力災害、防災関連の刊行物

資料分類	資料の例
図書	・ 県内市町村が発行した震災関連記録誌 ・ 各関係機関が発行した記録誌 ・ 報道写真集、記録誌 ・ 被災体験手記 ・ 災害、防災関連図書 ・ 地域防災計画書 ・ 児童書 等
雑誌	・ 学会誌 ・ 震災、防災関連雑誌 等
視聴覚資料	・ 震災、防災関連DVD、CD音声資料 等
その他	・ 震災、防災情報新聞バックナンバー ・ その他、地図やリーフレット類 等

資料収集体制の確立

1. 情報・資料収集



- ・ 県庁生涯学習課からの情報照会
- ・ 市町村と収集担当者との結びつき
- ・ 資料提供者からの別の紹介者の紹介
などなど



楢葉北小学校の震災関連資料と収集



1. 収集の背景と目的

楢葉北小学校は戦前からある歴史ある学校であり、地元住民の多くが母校としている。

第三代の校長先生

明治21年1月着任



- ・ 校内は避難当時，一時立ち入り当時のままの状態
- ・ 建物にダメージがあり，2017年9月より解体工事開始



震災によって失われる

地域の歴史を保全
震災当時の様子を保全

緊急性
あり

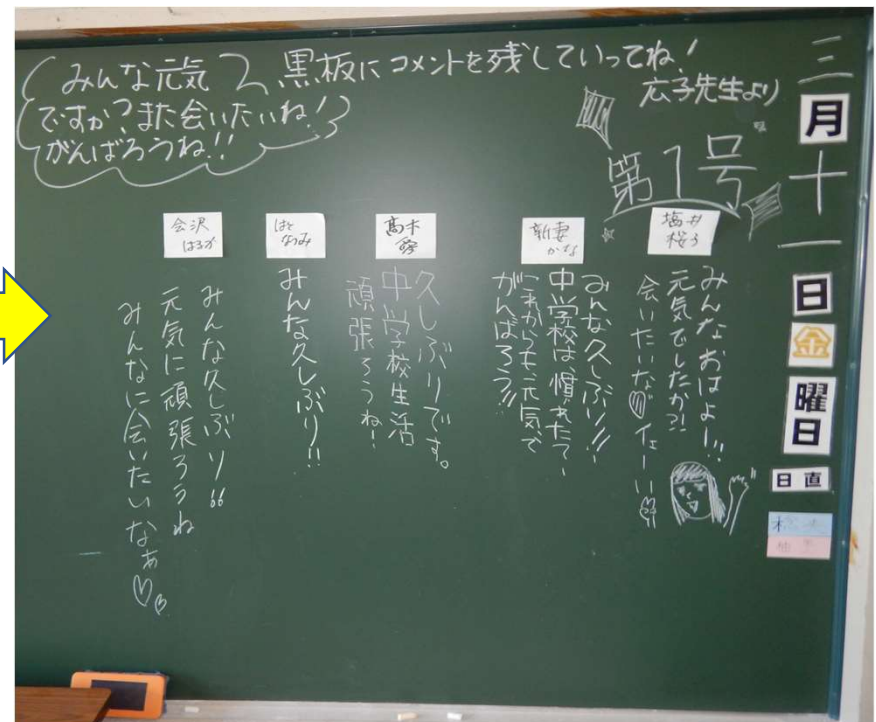
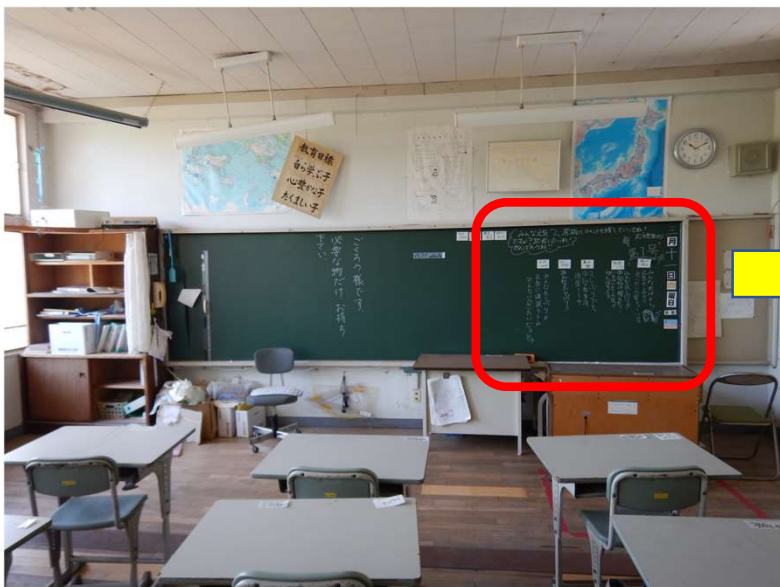
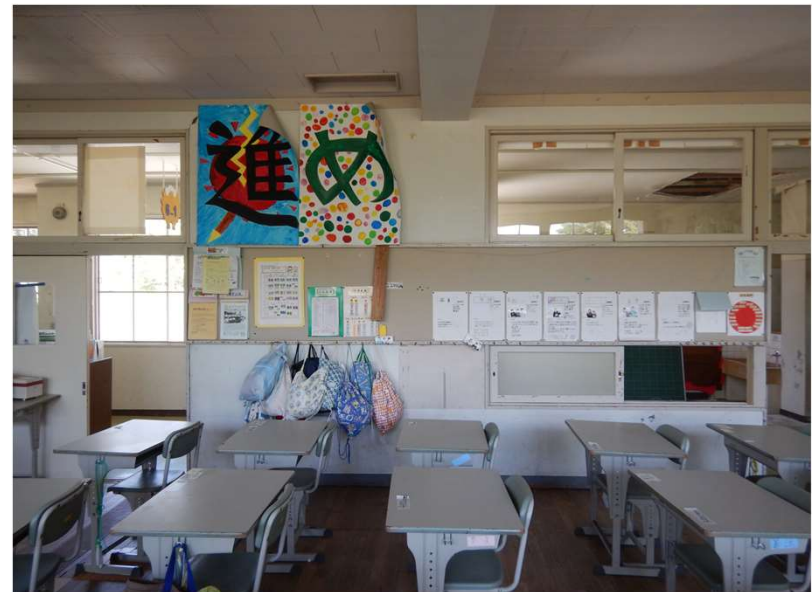
2. 学校の保全（記録）

- (1) 静止画・動画の撮影（空撮含む）
- (2) 保存状態の良い教室の測量
- (3) 掲示物など物品の収集（黒板含む）

(1) - 1 校舎の外側を撮影



校舎の内部を撮影

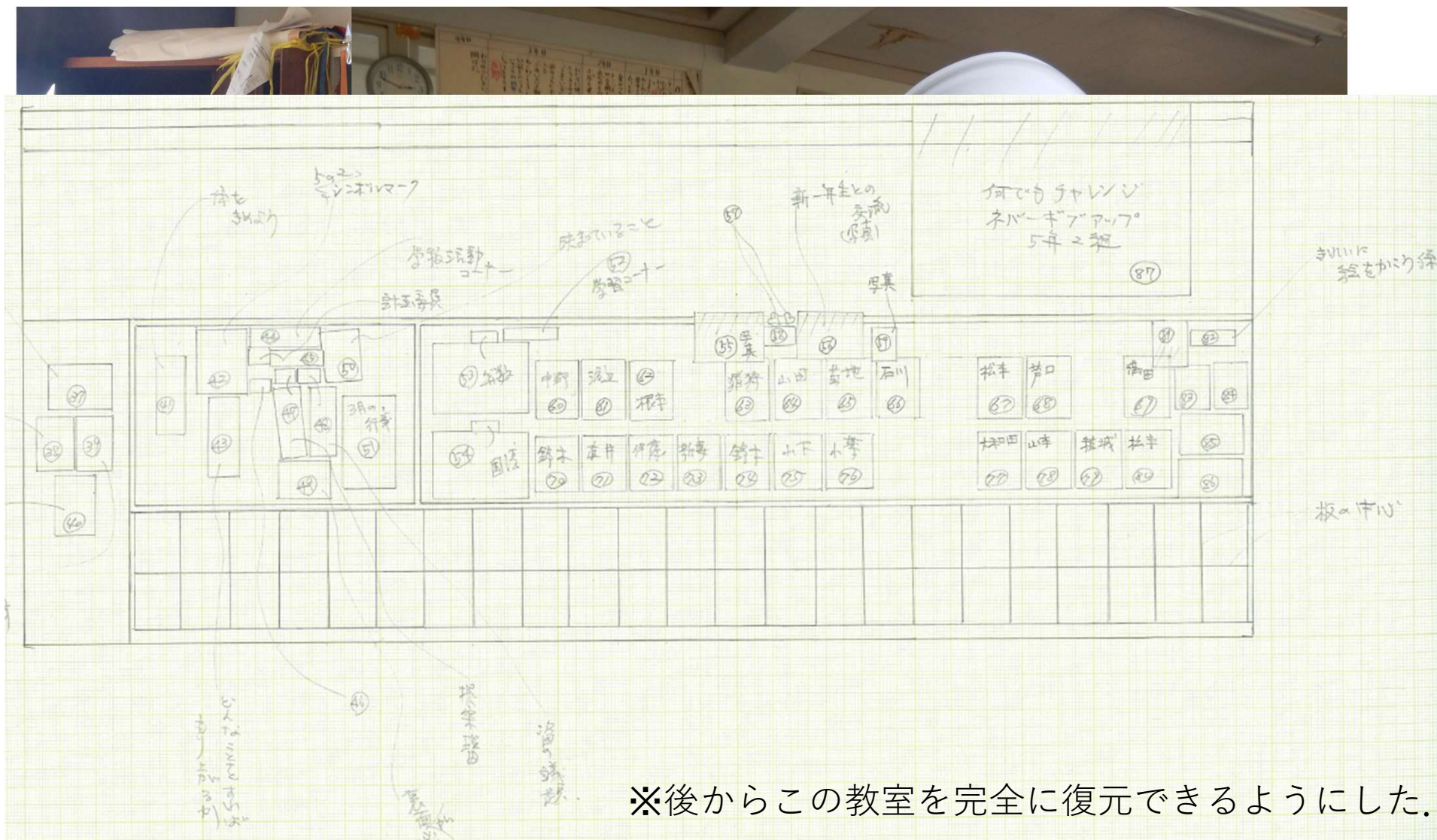


校舎の内部の動画を撮影



工夫した点・・・子ども目線で歩いているように撮影する

保存状態の良い教室の測量



原子力災害アーカイブズへの期待

(1) 前の災害経験を活かせたかどうかの検証

全村避難：伊豆大島・三宅島・山古志村など

津波災害：三陸沿岸などの経験

原子力災害：チェルノブイリなど??

(2) 防災・減災へつながる災害経験の蓄積・発信

大型地震の発生：首都直下地震など

※熊本地震へ活かせたか？

次なる原子力災害：国内・国外

教育への活用：防災教育（学校・社会・生涯学習）

(3) 事実上、戻れない「ふるさと」の継承

大字誌の編纂：地元住民による（請戸・長泥）

伝承・逸話の継承：大熊町の例

失われる「地域の象徴」の保全・記録（檜葉北小学校など）



村おさめ

問題と課題の所在

さまざまな**災害**が発生



災害の記録を残さなければならない

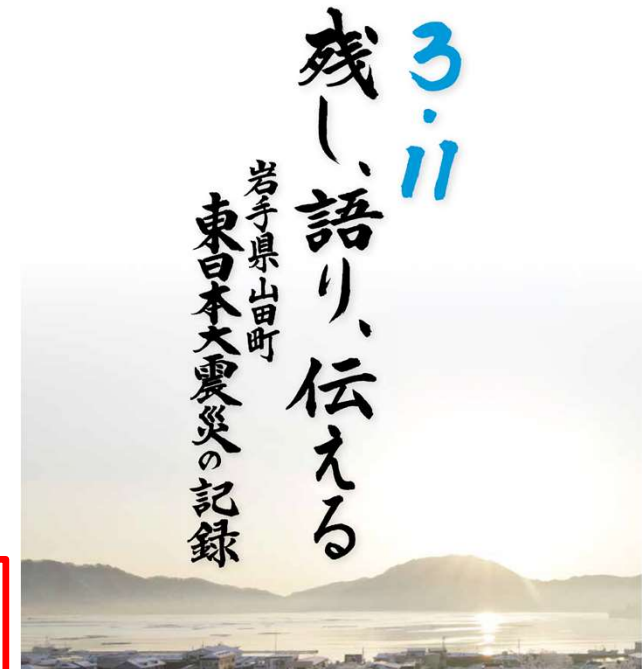


1. 誰にむけて記録を残すか？
2. 何を記録するか？
3. どうやって記録するか？
(写真と実物, デジタルとアナログ)
4. 災害記録をどう活用するか？



担当機関・担当者間での**資料の価値観**の
共通認識の確立

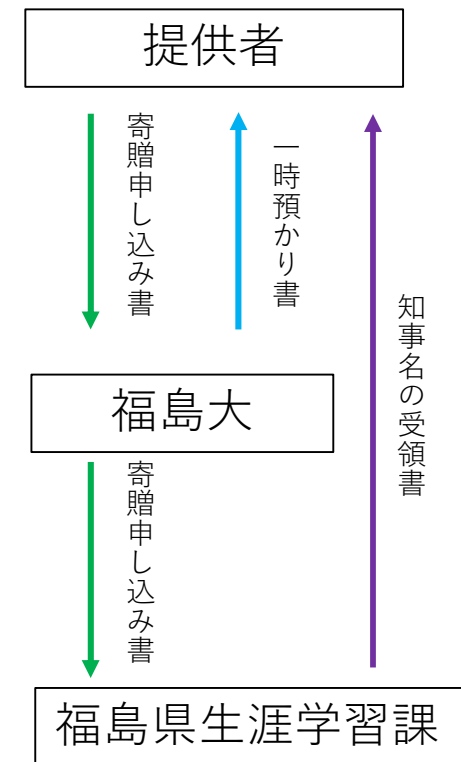
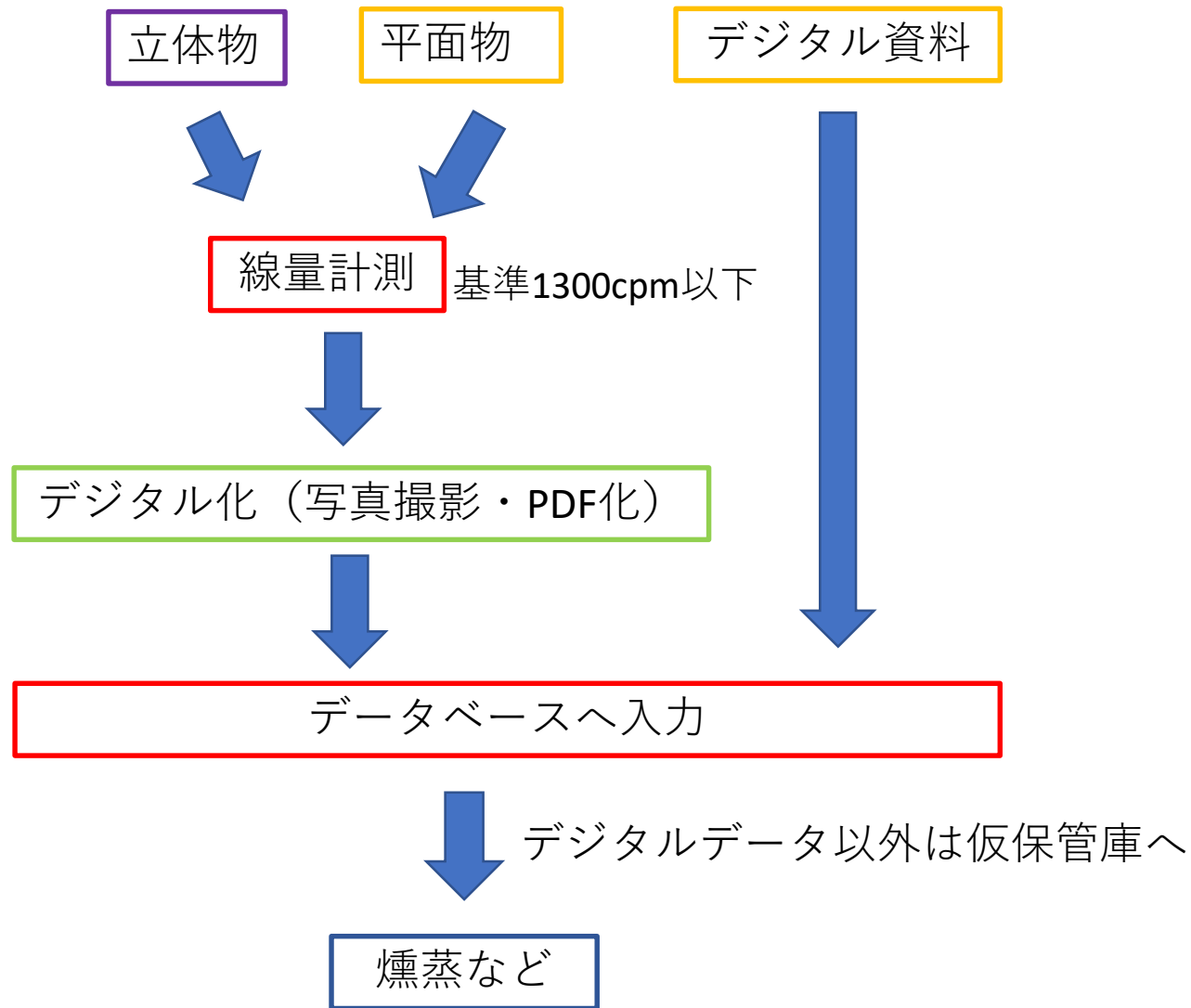
(博物館的) 物品の収集・保全・保管



震災記録誌



3. 資料の管理と保全



書類の動き

資料群名 (ファンド名)					
提供者					
ボックス番号		中性紙箱	中性紙封筒	段ボール	寄贈 寄託
	収集	書類	撮影/PDF	寸法	重量
日付					
担当					
	データベース入力	梱包 (ラベル/写真付)	燻蒸	収納	燻蒸済入力
日付					
担当					
				調査	収集 保全

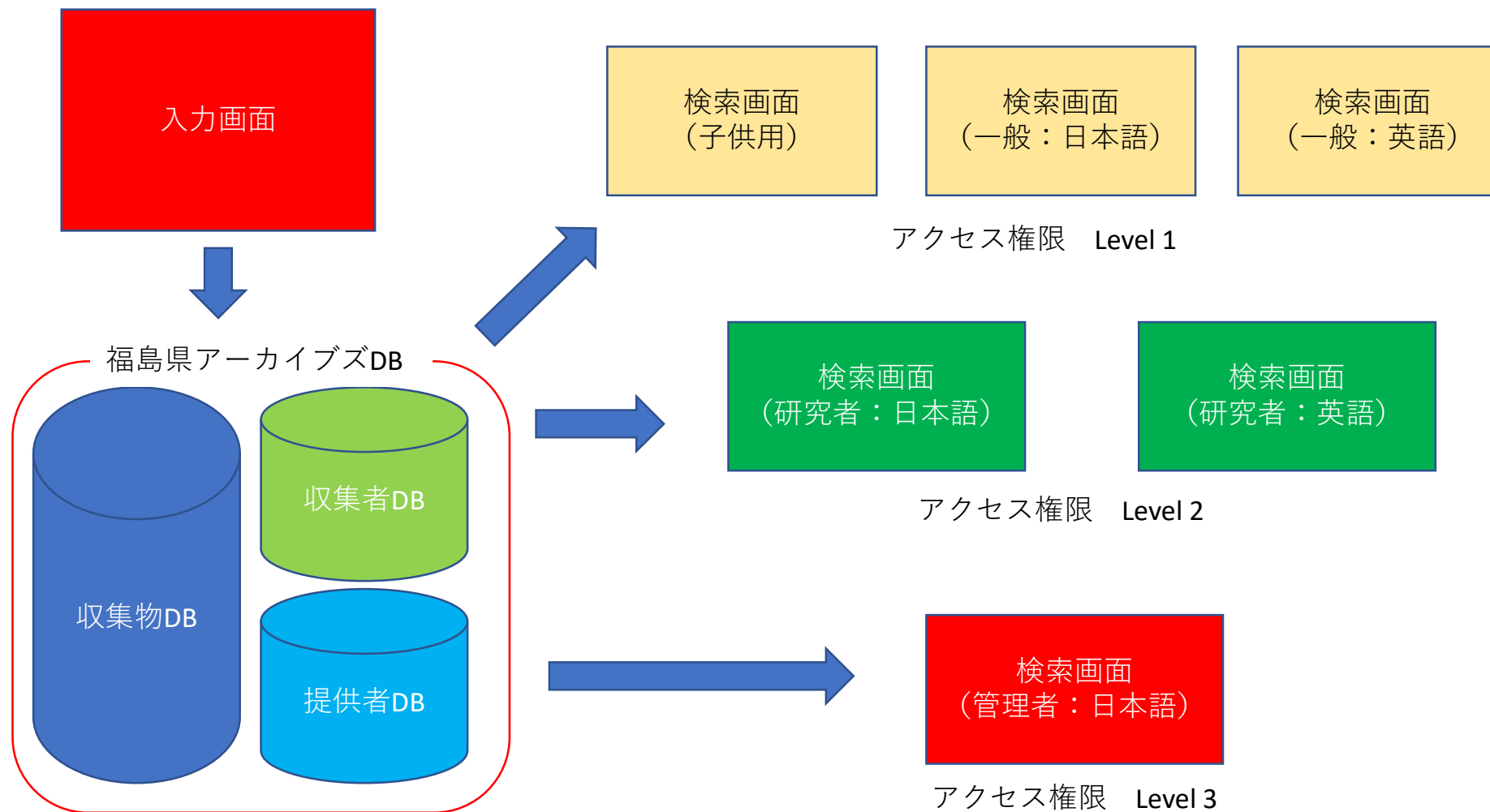
収集管理表 (収集から倉庫まで一貫して使用)

メタデータ項目と入力ルール			
	項目表示名	項目ID	項目の定義と入力のルール
1	資料群No.	実数001	
2	資料群名(ファンド名)	文字001	資料群全体を指す。1つの組織や集団、個人の収集資料の全体のこと
3	提供者No.	実数002	
4	提供者	文字002	
5	ボックス番号	実数003	
6	ファイルNo.	実数004	
7	ファイル名	文字003	封筒やファイルケースなど、1つのフォルダに収納されている資料のこと
8	アイテムNo.	実数005	
9	アイテム名	文字004	ファイル内の下位分類、資料群の最小単位。文書資料であれば、ファイルの中のプリント1枚1枚がアイテムとなる
10	シリーズ名	文字005	シリーズは資料群内の大分類を指す。内容や収集時期等の枠組みを同じくする資料のまとまりのこと
11	作成主体	文字006	
12	作成年月日	文字007	日付 (yyyy/mm/dd形式)
13	収集物の形態	文字008	モノ(立体)or紙or写真or映像・音声or冊子・会報類or図書or雑誌or新聞or視聴覚資料orその他
14	コピー・実物の別	文字009	ハード・コピーorデジタル・コピーor実物
15	大きさ(高さ×幅×奥行き)	文字010	A判B判規格紙の場合は、A3、B5などの記載も可
16	重量	実数011	単位：kg
17	素材	文字012	
18	宛先	文字013	手紙や電子メールなどの場合記入
19	燃焼処理	文字014	日付 (yyyy/mm/dd形式)
20	保存処理	文字015	日付 (yyyy/mm/dd形式)
21	受け入れの種類	文字016	寄贈 or 寄託
22	線量	文字017	単位：cpm
23	撮影測定日	文字018	日付 (yyyy/mm/dd形式)

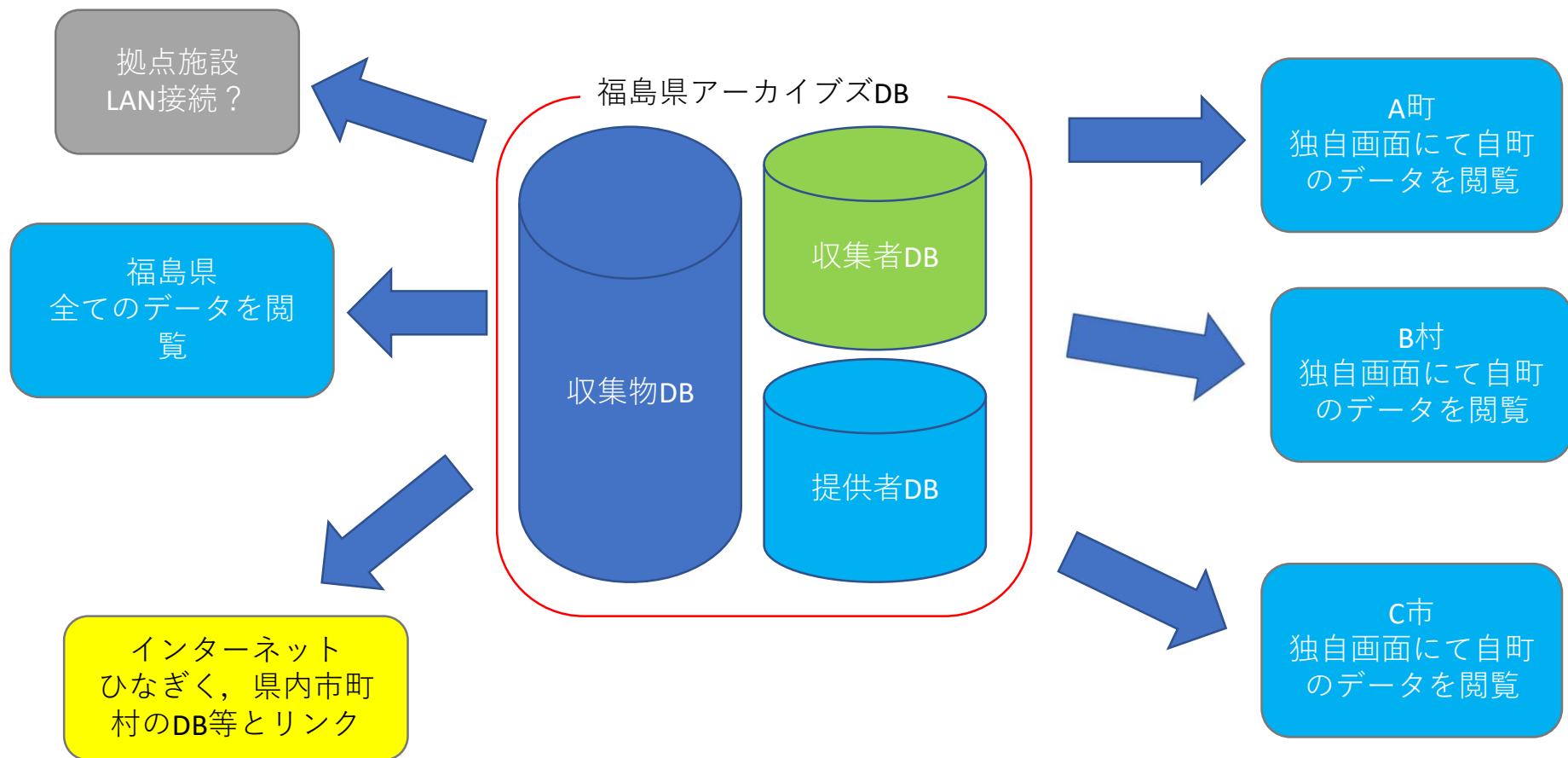
メタ項目の一例

(ひなぎくと連携できるように決定、出所(提供者)をキーとしている)

課題：入力者によって精度や書き方が異なる(異なってしまった)。



福大提案のデータベース概念図2
(収集物DBは稼働中)



福大提案のデータベース概念図1
(収集物DBは稼働中)

自治体（県・市町村）の教育
委員会職員が分かる記述があれば望ましいと考える。

[illegible]

市町村から伝承館への質問事項

- ・メタデータって何ですか？
- ・エクセルではダメですか？
- ・ひなぎくと連携した上でアーカイブ拠点施設とも連携できますか？
- ・Windows7で動きますか？

NDLメタデータスキーマ

福島県においては県・福島大のほかに基礎自治体がデータベースを作る（作った）事例が多くあり、中でも復興途上の浜通り地方においては **これから** 構築したい旨の自治体が多い。

デジタルアーカイブズでしかできないこと
デジタルアーカイブズが得意なこと
デジタルアーカイブズが不得意なこと。